

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-229387

(43)Date of publication of application : 07.09.1993

(51)Int.Cl.

B60R 1/06

(21)Application number : 04-085136

(71)Applicant : MIYAHARA FUMIO

(22)Date of filing : 21.02.1992

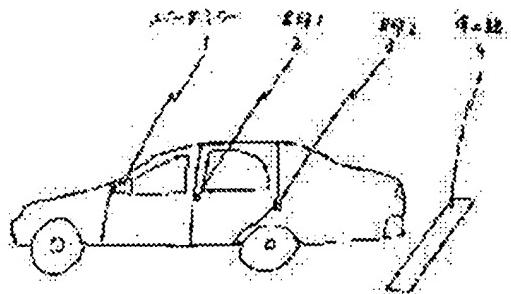
(72)Inventor : MIYAHARA FUMIO

(54) METHOD FOR STOPPING AUTOMOBILE IN DETERMINED POSITION WITH REARVIEW MIRROR

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide a method for easily and certainly stopping an automobile by backing in a determined space such as a garage or parking garage by providing two marks on the side surface of a car body.

CONSTITUTION: On the driver's seat outside of a car body, a stop line 4 is temporarily provided in the rear of a rearview mirror 1 as a base point to determine a stop position, and two marks 2, 3 are provided on the line connecting the stop line to the rearview mirror.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-229387

(43)公開日 平成5年(1993)9月7日

(51)Int.Cl.⁵

B 60 R 1/06

識別記号 庁内整理番号

Z 7812-3D

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全2頁)

(21)出願番号

特願平4-85136

(22)出願日

平成4年(1992)2月21日

(71)出願人 591239449

宮原 文男

長野県小県郡武石村下武石683番地

(72)発明者 宮原 文男

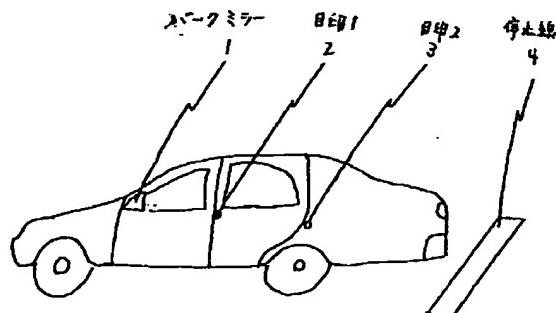
長野県小県郡武石村下武石683番地

(54)【発明の名称】 バックミラーで車を所定の位置に停車させる方法

(57)【要約】

【目的】 本発明は自動車をバックで車庫や駐車場等の決められたスペース内に停車させる際、車体の側面に二ヶ所の目印を設けて容易かつ確実に停車せしめる方法に関するものである。

【構成】 車体の運転者席外側にバックミラーを基点として後方に停止線を仮設して停車位置を決め、停止線とバックミラーとを結んだ線上に二点の目印を設ける。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 車体の側面に二点の目印を設け、この二点と停止線とをバックミラーで確認して定位置に車を停車させる方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は車をバックミラーのみで所定の位置に停車させる方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、車を駐車場等の一定位置に停車させる場合、総て運転者のカンに頼っていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】今までの運転者のカンのみに頼っていたバックによる定位置への停車を、目印を設けることにより科学的かつ確実に行える様にするものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】車体の側面、バックミラーを基点として後方に二ヶ所の目印を設ける、バックミラーで二ヶ所を確認し、延長線上に停止線が見えたら停 20 止する。以上の方による停車方法である。

【0005】

【作用】車体の側面に二点の目印が設けてあるので車か

2

ら顔を出すことなくバックミラーのみで定位置への停車を可能にせしめる。

【0006】

【実施例】車体の運転者席側面にバックミラー（1）を基点に、後方に停止線（4）を仮設し、二点を結んだ線上に二ヶ所に目印（2）（3）を設ける。バックミラーはドアにあるものと、フェンダーにあるものがあるが、フェンダーにある場合はもう一点増すこともある。

【0007】

【発明の効果】駐車場等車の駐車スペースが限られている場合、停止線より前で停車するため前部が駐車スペースからはみ出して通路を狭くして他車の通行の妨げとなったり、物損事故誘発の原因となっているが、この方法で停車させると確実に枠内に停車できる。特にバック進行を苦手とする女性、年輩者、運転未熟な人に向いている。

【図面の簡単な説明】

【図1】乗用車の側面図

【符号の説明】

1. バックミラー
2. 目印 1
3. 目印 2
4. 停止線

【図1】

